



2023年7月25日(火) 第2430回 例会

第2510地区 日本 (DISTRICT 2510 JAPAN) ●会長: 藤井 徹也 ●幹事: 岸田 理 ●編集: クラブ会報委員会 (担当/徳永 賢二)

本日のプログラム

夜間例会「親睦夜間例会」

親睦活動委員会



宴会メニュー (前菜、お造り、揚げ物、海老塩味炒め、すすきの薬味ソース、助六、デザート)

次回の予定プログラム

卓話「壊せ そして 組み立てろ」

北海道大谷室蘭高等学校
校長 竹本将人 様 (室蘭東RC)
プログラム委員会



和食ランチ (天井、小鉢、お椀、香の物、甘味)

※例会終了後、定例理事会を開催致します。

四つのテスト
言行は これに照らしてから

1. 真実かどうか。
2. みんなに公平か。
3. 好意と友情を深めるか。
4. みんなのためになるかどうか。

出席報告

会員数	49名	出席者数	24名
出席免除者数	0名	欠席者数	25名
出席義務者数	49名	出席率	48.97%

前回までの例会の報告

第2429回 (7月18日) 例会記録

【会長報告】

1. 室蘭港まつり「市民おどり」について

【委員会報告】

1. 2022-2023年度決算報告
会計 齊藤 崇 会員
監査 本間 信 会員
2. クラブ広報委員会 菅原正明委員長より
例会終了後に委員会を楓の間に於いて開催いたします。関係者はお集まりください。
3. 親睦活動委員会 宮本秀樹委員長より
例会終了後、例会場にて委員会を開催します。関係者はお集まりください。

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、
高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、
相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、
特別なニーズを抱える人びとを助け、
地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を
落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントの
ない環境を維持し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、
ハラスメントを報告した人への報復が
起こらないようにする。

- 例会場 アパホテル室蘭
- 例会日 毎週火曜日 12:30 P.M.
- 事務所 室蘭市中島町2丁目28-6
- 電話 0143-45-6569 ●FAX 0143-50-6578
- URL <http://murokita-rc.org/>
- E-mail mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp



卓話「私の生業『土地家屋調査士』」

室蘭東ロータリークラブ
会長 森 秀樹 会長

土地家屋調査士の歩み

土地家屋調査士制度は「土地台帳」および「家屋台帳」の調査員制度の流れを継承して「表示に関する登記」へと時代の要請に従って役割が変化して現在の発達を遂げ、国民生活に不可欠な制度として定着しています。土地家屋調査士の意義は、不動産の状況を調査・測量して位置を明確にし、正確な地積(土地の面積)を確定した上で登記簿に反映するところにあります。

昭和24年に税制の抜本改革があり、これによって国税であった固定資産税が市町村税に変わりました。そこで今まで税務署で管理してきた、「土地台帳」と「家屋台帳」を一元化する事により、課税のための台帳から現況を正しく表示するための台帳として取扱う事を目的に、税務署の管轄から法務局(登記所)の所管へと移されました。

これを機に台帳業務の適正を図る事、登記手続の円滑化、ならびに不動産による国民の権利を明確にする目的でこれらの業務を専門的に行うために昭和25年7月31日に「土地家屋調査士法」が制定されました。7月31日は制度制定の記念日なので「土地家屋調査士の日」とされています。

土地家屋調査士の役目

土地家屋調査士の使命は、不動産の状況を正確に登記記録に反映することによって不動産取引の安全の確保、国民の財産を明確にするといった極めて公共性の高いものです。



●プロフィール

1971年 室蘭市生まれ
1991年 北海道測量専門学校 卒
2006年 森土地家屋調査士事務所 開業

土地家屋調査士の業務

1. 不動産の表示に関する登記につき必要な土地又は家屋に関する調査及び測量をすること。
2. 不動産の表示に関する登記の申請手続について代理すること。
3. 不動産の表示に関する登記に関する審査請求の手続について代理すること。
4. 筆界特定の手続について代理すること。
5. 土地の筆界が明らかでないことを原因とする民事に関する紛争に係る民間紛争解決手続について代理すること。

新しい制度の創設

相続の登記がされないため、登記簿を見ても所有者がわからない「所有者不明土地」が近年増加し、周辺環境悪化や公共事業の阻害など、社会問題になっております。この問題解決のため、令和6年4月1日からは、相続登記が義務化されます。

又、これに先駆けて、相続した土地について「遠方に住んでおり利用する予定がない」、「周りの土地に迷惑がかかるから管理が必要だけど負担が大きい」といった理由により、土地を手放したいというニーズが高まってきています。このような土地が管理できないまま放置されることで、将来、「所有者不明土地」が発生することを予防するため、一定の要件がありますが、国庫に帰属させることを可能とする「相続土地国庫帰属制度」が令和5年4月27日創設されスタートしております。土地家屋調査士も皆様のお役に立てる事がございますのでその際はご相談ください。

我々土地家屋調査士は、不動産の表示に関する業務により、国民の皆様の不動産に係る財産管理の一助となり、不動産取引の安全に寄与致します。本日はありがとうございます。

クラブ広報委員会よりお知らせ 第1回 ロータリー勉強会(卓話)

日時/8月29日(火)12:30

委員長 菅原 正明
副委員長 加藤 栄吉・西城 明
委員 松田 博文・徳永 賢二
小野寺 浩二・斎藤 聡

今年は「卓話」「ファイヤーストームミーティング(炉辺談話)」「クラブ協議会」「小グループ勉強会」などを通して、ロータリアンとしての理解すべき基本事項、ロータリアンとしての心構え、心得などの周知・修得、啓蒙を目的とした勉強会を開催します。

その第1回が8月29日例会となります。
会員各位は必須事項として出席ください。



室蘭民報に掲載されました。 クラブ広報委員会提供

国際ロータリー第2510地区ロータリー第50地区(小椋圭修代表)の第50地区大会が、室蘭市中島町のアパホテル室蘭で開催され、参加者がものづくりに触れるとともに、親睦を図った。ロータリークラブ(RC)やロータリーアクトメンバー約50人が出席。小椋代表が「室蘭の魅力発信するだけでなく、新たな魅力を見いだす機会になることを期待している」と開会のあいさつを行った。

勉強会は「ものづくりのまち『室蘭』と鑄造について」をテーマに展開。東日本最大のつり橋・白鳥大橋は多くの部材が地元で製造されていることや、国産航空機エンジン誕生の地であることが紹介された。鑄物作りの体験会も行われ、スズやビスマスといった低融点合金を溶かし、RCのシンボルマークである歯車の型に注入。固形化後に取り出し、紙やすりで磨き、完成させた。懇親会も開かれた。

ロータリーアクトは、国際的な社会奉仕団体のロータリークラブが提唱する、18歳以上の青年男女を対象にした奉仕クラブ。同地区では室蘭や千歳など北海道西部の4クラブが年一回持ち回りで大会を開催している。(山本早希)

室蘭でロータリーアクト地区大会

ものづくり学ぶ



室蘭のものづくりを紹介する小椋代表



ニコニコBOX

ゲスト森英樹様(卓話にあたり)
宮本秀樹(7/18防犯の日ということで)
本間信(テナントさんのイベント成功して終えました)
斎藤聡(SAAの初鳴きでした)
川原陽一(生産性の会議無事終了しました)
西野義人(7/28全道少年野球大会へ行ってきます)
藤井徹也(明日よりマレーシアへ行ってきます)
川本康裕(先日ロータリーアクト地区大会の記事が載りました)
内池秀光(弊社社員の佐々木が日曜画家作品展にて最高賞となります青山市長賞を受賞致しました)

ロータリーソング 手に手つないで

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ
一つ心に おおロータリアン
おお ロータリアン

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ
世界とともに おおロータリアン
おお ロータリアン